

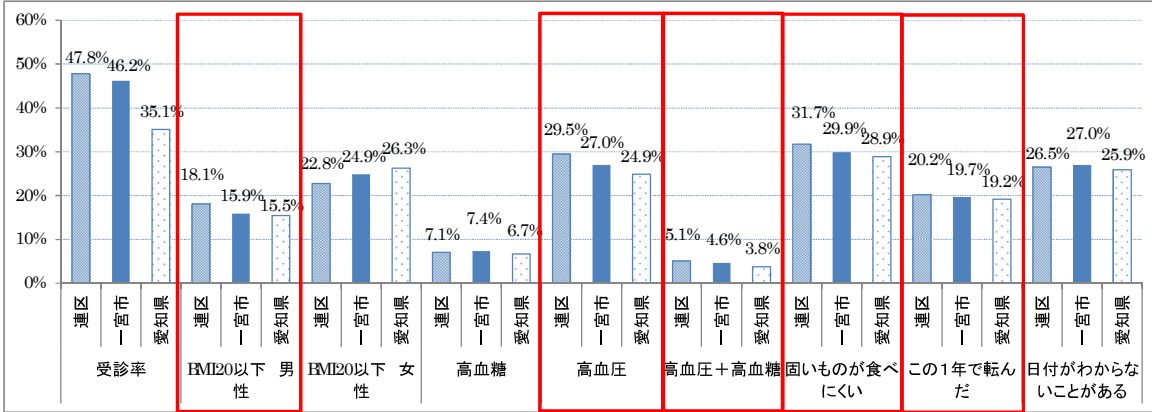
●木曾川町連区の情報●

⑦連区の人口構成 R6.4.1

総人口： 33,894 人 (男性 16,575人、女性 17,319人)
 世帯数： 14,762
 高齢化率： 25.5 % (市内高齢化率が高い順で23連区中18番目)

⑧一宮市後期高齢者医療制度 健康診査 (令和5年度)

被保険者人数 市 61,344 人 連区 5,093 人



「BMI 20以下」、「固いものが食べにくい」、「この1年で転んだ」、「日にちがわからないことがある」の4点はフレイル（虚弱）に関する質問項目になります。 …改善したいもの 資料:KDBシステム

⑨地域活動 (地域包括支援センター「コムネックスみづほ」や社会福祉協議会の活動より)

・認知症高齢者への声かけ体験『声かけお助け隊』

「地域に住む高齢者の方が安心してお過ごしいただけるように」を目的に、毎年木曾川の小学校を会場に見守りや声掛けの体験活動を開催しています。コロナで休止しましたが、毎年多くの方に参加いただき、小・中学生などの若い方も参加しています。近年、学校を出て外での活動を行っています。お見かけの際はぜひ、活動の様子をご覧ください。リアルな演技で、認知症高齢者の方への対応を、みんなで体験し学ぶことができます。



・認知症サポーター養成講座



地域づくり協議会が主体となり、尾西信金ホール（木曾川文化会館）で、地域の町内会・班長を対象に認知症についての講座を開催。認知症の種類や病状、特徴を知り、病気への理解を深め、そして、認知症ご本人による講演も行いました。認知症は誰の身にも起こりうる身近な病気だということを、地域の皆さんがともに学んでいます。



地域の保全活動により
苗木から大きく成長した
ハナミズキ

・ハナミズキの植樹と見守り (一宮市制100周年+1記念植樹事業の苗木)

地域づくり協議会が中心となり、記念樹ハナミズキの見守りを通じた地域の輪づくりに努めています。

⑩データから見る地域の特徴と健康の課題

《市全体のこと》

●平均的に要介護2以上の期間は、男性で1.6年、女性で3.1年。この期間を短くすると、自分のことが自分でできる期間が長くなる。今後の、健康増進、介護予防の取り組みでこの年数を減らすことが望まれる。

《連区のこと》

●健診受診率は市と比べると高い。後期高齢者の健診は、フレイル健診とも言われ、知らない間に進むカラダの変化のチェックができる。生活の中の工夫で、病気や介護を遠ざけることもできるから、1年に1回利用しよう。

かかりつけ医を持ち、病気だけでなく、カラダの変化も相談しよう。
 これから何がしたい？今後の人生に楽しい時間が増えるかもしれません♪



- 健診結果から「高血糖」や「高血圧+高血糖」の人の割合が多い。自覚症状がないから、病院で診てもらわなければならない。BMI 20以下の「低栄養」の人は、男性が市より多い。知らない間に痩せていることもあるので、要注意！
- 質問票の結果から、「固いものが食べにくい」「この1年で転んだ」人の割合が多い。
フレイル予防の知識の普及と予防の取り組みを進める必要がある。

◆地域活動について

実際に地域に出て、認知症について普及・啓発を行っていることや、多世代での交流も行っていることは、市民の意識の高まりや交流の場となっており、フレイル予防に良い活動になっている。

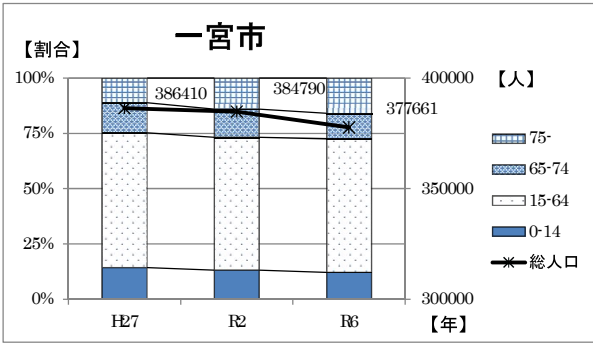
フレイル予防は、運動、食事、人との交流がキーポイント。
 連区の活動は、フレイル予防に繋がっているね！



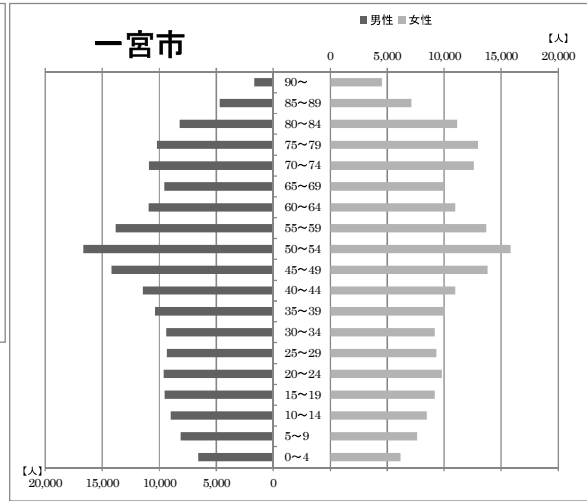
一宮市の情報

一宮市の情報

①人口推移(各年4月1日)



②男女別年齢階級別人口(令和6年4月1日)



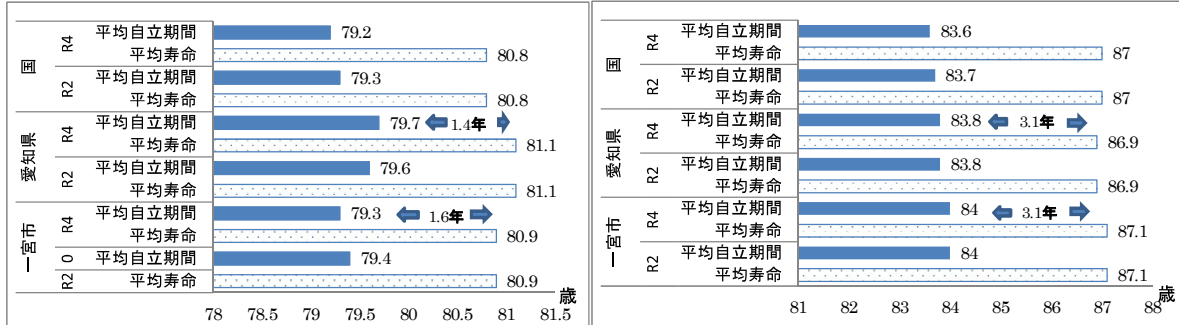
資料:住民基本台帳

③人口構成(令和6年4月1日 住民基本台帳)

総人口: 377,661 人(男性 184,259人、女性 193,402人)
 世帯数: 168,204
 高齢化率: 27.4% (参考: R6国29.3%、R6愛知県25.8%)
 要介護認定率: 17.5% (令和5年9月末 第9期高齢者福祉計画)

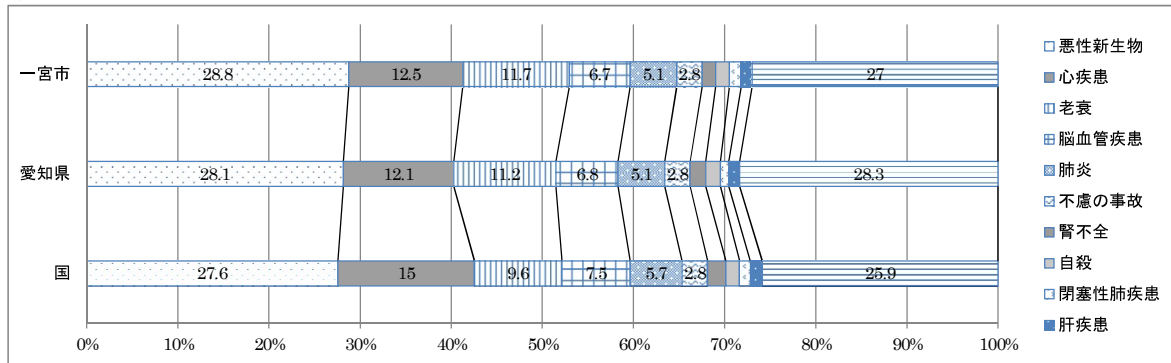
④平均自立期間(市町村レベルの健康寿命の指標)

平均自立期間とは、日常生活動作が自立している期間の平均年数を示す。要介護2以上を不健康状態と定義して、平均余命から不健康期間を除いたもので算出します。参考として、平均寿命を掲載しているが、単純に比較できるものではない。



平均寿命は、男女とも、令和2、4年は同じ。愛知県よりも男性は1.8年短く、女性は、0.2年長い。平均自立期間と平均寿命の差が、平均的な不健康期間となります。男性は約1.6年、女性は3.1年で男性は、愛知県よりも0.2年長く、女性は同等でした。

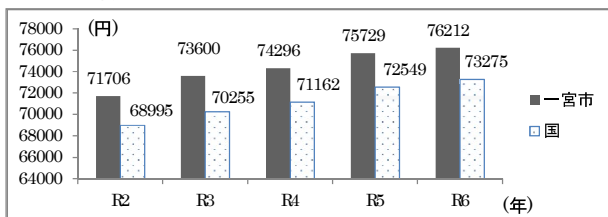
⑤主要死因別順位(令和2年度)



資料:健康日本21いちのみや計画

⑥後期高齢者医療保険制度 医療費データ

一人当たり医療費(一宮市)



死因の上位を悪性新生物、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病が占めている。生活習慣病は、予防対策があるもから、かかりつけ医や保健師に相談し、自分にあった対策を考えよう。早めに対策することで医療費も安くなることもあるよ。



資料:KDBシステム